

# バリ島クタ海岸における大規模サンゴ移植実施後の状況について

海外事業部 港湾空港部 大中 晋 他

## ○キーワード

サンゴ移植、無性生殖、海岸侵食、サンゴ礁、円借款事業、インドネシア

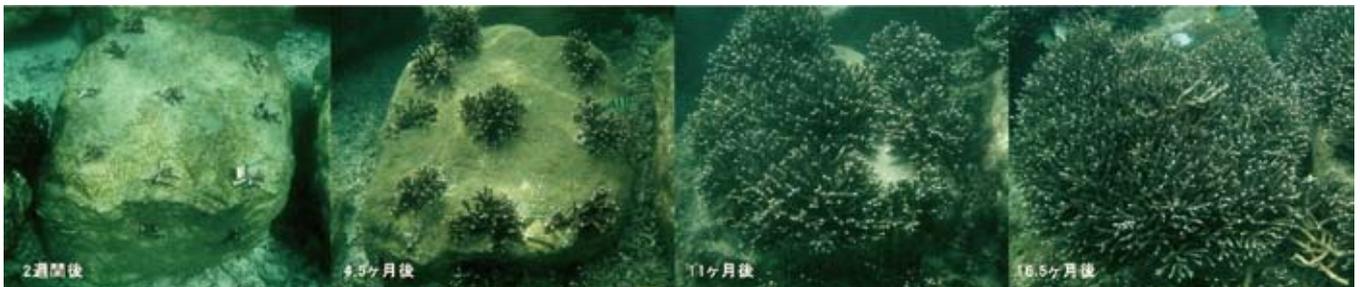
## ○概要

インドネシアのバリ島南部に位置するサンゴ礁海岸であるクタ海岸では、海岸侵食により失われた砂浜を復元するために、わが国の援助による海岸保全事業が実施されてきた。当海岸のサンゴ礁は、過去に行われた大規模なサンゴ採掘や、サンゴ礁上での滑走路建設により、これまで大きな損傷を受けており、それが海岸侵食を助長した要因の1つとして挙げられていた。そこで、これらの損傷を受けたサンゴの復元を目的とした、無性生殖（サンゴ片の基盤上への固定）を活用したサンゴ移植・増殖が、本事業の一環として実施された。本事業で実施したサンゴ移植は、移植面積が約1haと、過去に例を見ない大規模なものである。また事業として実施されることから、成長性と生残率に対する高い確実性が求められた。本研究は、国内ではまだ事例の少ない大規模サンゴ移植・増殖について、実施から1年半以上経過した移植サンゴの成長状況および生物環境変化を明らかにすることを目的とする。

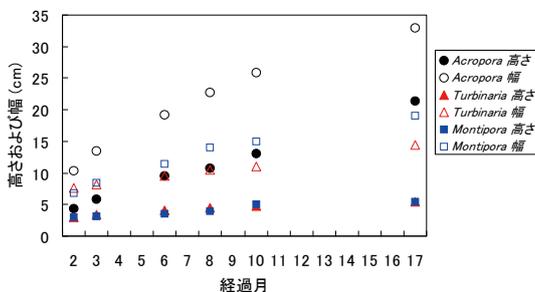
## ○技術ポイント

- ① 国内外で類を見ない1haでの広大なエリアでのサンゴ移植を実施したこと
- ② 1年半経過時点で、高い成長率および生残率が得られていること
- ③ サンゴ群生の成長に伴い、新たな生物生息環境が創造されたこと

## ○図・表・写真等



樹枝状サンゴの成長状況（ミドリイシ (*Acropora nobilis*)）



樹枝状サンゴおよび葉状サンゴの高さ、幅の変化



新たな生物環境の形成（左：成魚群 右：稚魚群）